

H 2 2 . 1 1 . 3 0 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日 時：平成 2 2 年 1 1 月 3 0 日（火） 1 4 時 0 0 分～ 1 6 時 0 0 分

議事概要：

表 H 2 2 . 1 1 . 3 0 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1. 猛禽類検討会の検討経緯について	・猛禽類検討会の経緯、前回検討会での指摘と対応について報告した。	・特になし		
2. 平成 22 年繁殖シーズンの調査結果について	・クマタカ、オオタカ、ハチクマ、サシバの調査結果について報告した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A、B、C の 3 ペアすべてが繁殖に成功した。</li> <li>・ 繁殖に成功したすべてのペアの行動圏の内部構造の検証を行った。</li> <li>・ クマタカの営巣木の下に残った餌の残渣について同定・分析を行った。</li> <li>・ オオタカについては、ペアの確認がされず、6 月調査までで調査を打ち切った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「行動範囲の推定」について、「推定」という語彙はあいまいに受け止められる。</li> <li>・ ハチクマ、サシバの調査はどのように実施しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局：「行動範囲の把握」に修正する。</li> <li>・ 事務局：クマタカ調査、オオタカ調査の実施時に確認されたものについて記録を取るようになっている。</li> </ul>
3. 平成 22 年度のモニタリング結果の評価について	・平成 22 年度のモニタリング結果の評価について報告した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度については、工事が各ペアの行動圏外であり、工事自体も小規模であったため、設楽ダム建設工事の影響はなかったものと想定されることを報告した。</li> <li>・事後調査のとりまとめ案について説明を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施箇所がクマタカへの影響が想定されない場所であったため、工事の影響を評価することは難しい、むしろできないのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局：他の事後調査事例を調べ、原案を作成するので、後日確認を願いたい。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料中の「動物（猛禽類）の生息状況の監視」との表現は、クマタカが猛禽類ではないような印象を与えて好ましくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局：環境影響評価書の標記に従っている。「動物の生息状況の監視」というふうに資料を修正したい。</li> </ul>
4. 平成 23 年繁殖シーズンの調査計画（案）について	・平成 23 年繁殖シーズンの調査計画（案）について説明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則的に平成 22 年繁殖シーズンと同様の調査計画（案）について報告を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C ペアの平成 23 年繁殖シーズンにおける幼鳥の行動範囲については、確実にとらえること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局：御指摘の通り、幼鳥の行動範囲を確実にとらえるよう努める。</li> </ul>
5. 平成 23 年度に実施する環境保全措置等の検討について	・平成 23 年に実施する環境保全措置等について説明した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 年度も平成 22 年度と同様に工事計画が小規模であることを説明した。</li> <li>・それに伴い、環境保全措置についても原則的に平成 22 年繁殖シーズンと同様に実施することについて説明し、了承を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	